

美しい紅や黄色に公園を彩っていた桜や銀杏の木が葉を落とし始め、朝晩の寒さに本格的な冬の訪れを感じる時季となりました。被災地では、すでに最低気温が零度前後の日が続いているとのこと、ますます厳しい寒さに向かう被災地の方々へ心を寄せつつ、「ひとりの小さな手 通信 第9号」をお届けします。

先日、被災地の牡蠣の出荷が始まった、というニュースを見ました。津波ですべてが流されてしまった状況から再び牡蠣を育てること、育てた牡蠣を出荷するために処理場などの環境を整えること、それぞれ異なった事情を抱える人々が話し合い、協力し合いながら同じ方向に向かって力強く進む姿に、そして、震災前の出荷量にはまだまだ届かないけれど、この地に牡蠣で生きていける未来を残すために頑張る、と語る漁師さんの姿に、胸が熱くなりました。

少し前に読んだ文章の中で紹介されていた「あおいくま」という印象に残っていることばがあります。これは、あるタレントさんのお母さんが人生の教訓にしている「あせらない おこらない いばらない くさらない まげない」の頭文字だそうですが、被災地の漁師さんたちが、どれだけの忍耐と努力を続けているのだろう…と思った時、このことばが頭に浮かびました。私たちは、恵まれた日々でありながら、それでも心のバランスを失ってしまいそうになることがあります。常に大切な物を見失うことなく、今、自分にできることを考え、祈りつつ歩んでいきたいと思います。

間もなくアドヴェントの時期を迎えます。どうぞ心穏やかに、やさしい気持ちでクリスマスに向かう準備の時を過ごし、恵みあふれる素敵なお迎えください。(根岸)

「ひとりの小さな手」

ひとりの小さな手 何もできないけど
 それでもみんなの手と手をあわせれば 何かできる何かできる
 ひとりの小さな目 何も見えないけど
 それでもみんなのひとみで見つめれば 何か見える何か見える
 ひとりの小さな声 何も言えないけど
 それでもみんなの声が集まれば 何か言える何か言える
 ひとりで歩く道 遠くてつらいけど
 それでもみんなのあしぶみひびかせば 楽しくなる楽しくなる
 ひとりの人間は とても弱いけど
 それでもみんなが集まれば強くなれる強くなれる

◇報告

○ 11/10 (土) ゴスペル チャリティーコンサート

昨年につき、「野毛山幼稚園ゴスペルサークル ハレルヤ」と「サニーサイドゴスペルクラブ 横浜」によるゴスペルチャリティーコンサートが開かれました。今年も、小さなお子さんたちを含むたくさんの方々がご来場くださり、皆で被災地の方々に心を寄せながら、熱気あふれるひと時を過ごしました。

コンサート終了後、教会有志による手作りケーキの販売も行われ、来場された方々や出演者の皆さんに喜ばれていました。

チケット代・義援金 85,899円

ケーキバザー 12,200円



11月10日、野毛山幼稚園ゴスペルサークル・ハレルヤは、昨年につづき、2回目のチャリティーコンサートを行ないました。ゴスペルという、ひとりでも大勢の聴衆に聞かせられるほど歌の上手な人がたく大きい声で朗々と歌い上げるといったイメージがあると思うのですが、昨年感じたことは、歌がうまくなくても関係ない。自分が歌いたいように、神に向かって感情を解放し、感謝の気持ちとありのままの自分を表現して、歌うことで充電される、という世界でした。自分も楽しみ、喜んで歌うことが別の場所では大きな力になる。これはこのチャリティーの不思議な魅力です。

今回も会場に来ていただいた皆さまから、「良かったよ」「感動したよ」ということばをたくさんいただきました。そして皆さまからの貴重な義援金が被災地に送られます。今回は、わたしたちにできることをしよう！と、ハレルヤのメンバーの一声から積極的に関わってきました。サニーサイドメンバーの皆さんと一緒に歌え、チャリティーを行えたこととても幸福に感じています。ありがとうございました。 ゴスペルサークル ハレルヤ 松本 明彦



○ 11 / 11 (日) 教会学校アンデレクラスより 義援金 15,000円

教会学校おとなクラスのアンデレの方々は、毎週継続的に少しずつ義援金を寄せてくださっています。今回お預かりした義援金も、他の支援金と合わせ、被災地に送らせていただきます。

◇支援物資の発送、支援金の送付

- 10 / 1 (月) ・仙台へ 段ボール1箱
食器類 衣類、エプロン、靴下
タオル ハンカチ 袋物など雑貨
・陸前高田 ほっとカフェへ
手作りパウンドケーキ3本
- 10 / 15 (月) ・仙台へ 段ボール2箱
衣類、紳士用下着、靴下 タオル、バスタオル
ハンカチなど雑貨 食器、台所用品
食料品 (コーヒー、紅茶、缶ジュース、お菓子など)
- 10 / 30 (火) ・陸前高田 ほっとカフェへ
手作りケーキ7本
・仙台へ
手作りケーキ3本
- 11 / 22 (木) ・陸前高田 ほっとカフェへ
手作りパウンドケーキ3本
- 11 / 26 (月) ・仙台へ 段ボール1箱
衣類、靴下 タオル、ハンカチ、テーブルクロス、袋物
メモ帳、折り紙、文房具
食器、台所雑貨
食料品 (コーヒー、みそ汁)
手作りオートミールクッキー
・南相馬へ
手作りオートミールクッキー
教会学校子どもたちからのカード
・支援金送金
陸前高田へ 50,000円
仙台へ 20,000円
- 11 / 29 (木) ・南相馬へ
ひとあし早いクリスマスプレゼント



手作りリース2つ(保育園と教会へ)
子どもたちへ 手作りオーナメント
先生たちへ 手作り移動ポケット
かわいいクリスマスのお菓子



よろこんでくれると
うれしいな

◇今後の予定

- 12/1 (土) 9:00～ 教会学校有志によるクッキー作り
教会学校の子どもたちと一緒にクッキーを焼き、被災地の方々に送ります。

- 2013年 3/10 (日) 午後1時開場 1時30分開演

第8回 東日本大震災復興支援 チャリティーコンサート

東日本大震災から2年を迎えようとするこの日に、素敵な音楽が満ちる礼拝堂に集い、皆さんと一緒に被災地に心を寄せ、祈りを捧げたいと思います。どうぞ、ご予約ください。

陸前高田 ほっとカフェ 臨床心理学博士 アートセラピスト 陸前高田市緊急支援カウンセラーの佐藤文子さんからメールをいただきました。一部をご紹介します。

義援金はこのたび津波で流出した3つの中学が統合される中学の2つのカウンセリングルームの椅子やテーブルやお花などを購入する資金の一部にさせていただきます。市役所にあるカウンセリングルームがとても好評で、新しく統合されるカウンセリングルームのアレンジも頼まれました。市役所のカウンセリングルームは野毛山幼稚園と教会のご寄付でアレンジしました。今度のルームも教育委員会では予算が無く、「できればこの学校にも無いような部屋に何とかしてくれないか」と頼まれました。津波で親を亡くしたり、兄弟をなくした子どもがいます。統合になる事で登校拒否の子どもも増えるかもしれません。その子ども達のために使わせていただきます。本当にいつもありがとうございます。

佐藤さんは、個人的には孤独で、仮設は寒くて、ときどき悲しくなるそうですが、そういう時は聖書を読んでいるそうです。

これから、クリスマス、私たちは温かいところでクリスマスを祝うことができます。

大変な状況でクリスマスを迎えられる方々のことを覚え、さらに、ひとりの小さな手プロジェクトとして、みんなで心を合わせて、祈りを合わせて、できることをしていきたいと思います。(奈良)



発行 2012年11月30日
ひとりの小さな手プロジェクト
事務局 〒2200032 横浜市西区老松町30地
野毛山キリストの教会
野毛山幼稚園
根岸ひろみ 内田幸子 上條順子 諏訪姿貴